

# 鹿児島県立薩摩中央高等学校

## 団体の紹介・活動の目的

薩摩中央高等学校は、宮之城高等学校と宮之城農業高等学校を再編整備して、平成17年に開校しました。「自律・創造・共生」の校訓のもと、国家及び地域社会の進展に貢献できる人材の育成に尽力しています。

さつま町を含む川薩地域の子供たちは、高校卒業後に進学したいという者や、農業や福祉に関することに組み込みたいという者が多いです。本校には、普通科、農業科（生物生産科・農業工学科）、福祉科が設置されており、これらの特性を踏まえた地域連携の活動が行われています。

## 活動の内容

- さつま町教育委員会と連携し、本校を会場として、町内の小・中学生と高校を卒業して大学等に進学した者との交流活動
- 町内の小学校（盈進小学校、柏原小学校）と連携し、本校の農場における小学生とのふれあい農園
- 川薩地区の女性農業経営士で構成するさつまファームレディー倶楽部の花育部会員との交流活動
- 轟原公民会と連携した高齢者とのふれあいサロン

## 連携・協力している団体など

さつま町教育委員会、さつま町小・中・高連携協議会、さつま町内の小中学校、JA北さつま、さつまファームレディー倶楽部、さつま町社会福祉協議会、轟原公民会

①



「大学等進学者と小中学生との交流活動」

本校を会場として、さつま町の良さなどについての話し合い活動や、本校の梨を収穫する作業及び糖度計測などを行いました。

②



「小学生とのふれあい農園」

本校の農場に小学生を招き、9月に野菜の種まきをして11月に収穫をするなど、2回に渡る活動を行っています。

③



「さつまファームレディー倶楽部との交流活動」

本校生の実習成果物と女性農業経営士の生育した地元の草花を用いて、地産地消を意識しながらフラワーアレンジメント等で交流しています。

④



「高齢者とのふれあいサロン」

コミュニケーション技術等を学ぶ福祉科の生徒たちが、轟原公民館において、地域の高齢者の方々とレクリエーション等を行っています。